

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月20日(金)

事務事業		消防水利整備事業			担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	52121	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり			根拠法令 個別計画等	消防法				
	小項目	2	消防・救急体制の充実								
	主要プロジェクト										
事業概要		市民の生命、身体及び財産を火災から守るため、消防水利の整備及び危険因子のある消防水利の撤去等を行い、有効な初期消火及び消火活動ができるよう消防力の充実強化を図るものである。									
目的 ※何のために		消防力の充実強化を図るため									
対象 ※誰・何を対象に		消防水利									
手段 ※どのように		整備及び撤去等を行う。									
成果 ※何を求めるか		安定的な消防水利を確保し、市民の生命・身体及び財産を火災から保護する。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)			
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防水利整備事業		30,021,078
本事業の 主な業務		・消防水利設置工事					・				
		・消防水利の維持管理					・				
		・防火井戸等取壊工事費補助金の交付					・				
		・消火栓布設替工事負担金の支出					・				
		・消火栓維持管理費負担金の支出					・				
		・					・				

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		消火栓設置工事負担金	消火栓設置工事負担金				
事業費	予算(現額)	41,713,000	32,687,000	30,346,000	29,243,000		
	決算額	41,374,634	30,835,388	30,021,078	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	6,548	0		
	一般財源	41,374,634	30,828,840	30,021,078	29,243,000		
人件費	従事職員数(人)	0.75	0.70	0.70	0.75		
	人件費相当試算※	5,902,168	5,607,116	5,755,569	6,395,865		
総事業費試算		47,276,802	36,442,504	35,776,647	35,638,865		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	消防水利設置数	目標値	基							
		実績値		13.00	9.00	18.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			開発行為に伴う消防水利の設置もあるため、目標値の設定はできない。/設置数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	消防水利の修繕基数	目標値	基							
		実績値		3.00	2.00	2.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			修繕回数が多ければよいものではないため、目標値は設定できない。 / 修繕実数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	市街地・準市街地における消防水利の充足率	目標値	%	67.70	72.10	72.10	71.00			
		実績値		72.10	72.10	71.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			前年度実績が目標値 / 現有数/基準数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	消防水利の稼働率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00			
		実績値		100.00	100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			常に使用できる状態に保つことが目標値 / 稼働水利/総水利数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	消防水利1基あたりに係る維持管理経費	目標値	円							
		実績値		13,538.60	10,462.96	10,218.97				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			消防水利の修繕等により管理費が増減するため目標値は設定できない / 総事業費/総水利数（公設）						
	実績値の算出式				公設3492	公設3483	公設3501			
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	開発指導要綱に基づく適正な指導により消防水利数が増加となった。また、水利調査結果から修繕が必要な防火水槽の修繕を行い、維持管理の徹底が図れた。 老朽化が著しい無蓋の防火水槽（消防水利未登録）については、危険度、周辺の消防水利設置状況などを調査し、解体撤去計画を作成した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	消防水利の修繕、維持管理を行い稼働率を維持した。 老朽化が著しい無蓋の防火水槽について、自治会長へ撤去に向けた説明を行い、解体撤去計画に基づき適切に撤去を実施した。
			評価者 課長補佐兼警防企画係長 坂本 浩

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	環境水道部で実施する老朽管工事に伴う消火栓の布設替えや、開発指導等により効果的に消防水利を設置できた。 消防施設設置届出のオンライン化が図れた。 水利マップの定期的な更新を行う必要がある。
			評価者 課長補佐兼警防企画係長 坂本 浩